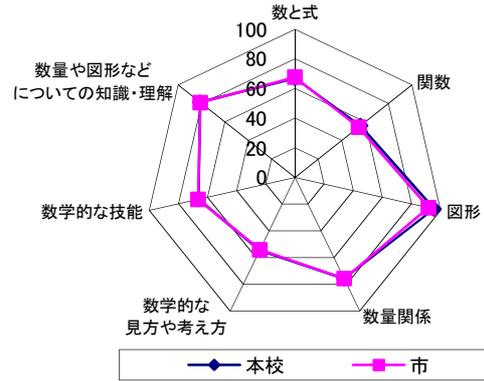


# 宇都宮市立瑞穂野中学校 第1学年【数学】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	数と式	66.9	67.6
	関数	56.1	54.4
	図形	95.5	91.7
	数量関係	75.8	75.8
観点別	数学的な見方や考え方	54.5	54.2
	数学的な技能	66.3	66.6
	数量や図形などについての知識・理解	81.4	81.1



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	正負の数に関する問題の平均正答率は、市の平均正答率よりを上回っているが、文字式、一次方程式に関する問題の平均正答率は市の平均正答率より低い。	文字式や一次方程式の計算力といった基礎計算力の定着が図られていないので、授業やスタンダードテストを通じて今後も計算力の向上を図る必要がある。また文章を読み取り、数字や文字を使って表すことが苦手な傾向があるため、等式や不等式で表現する問題を授業の中で多く取り入れていく必要がある。
関数	比例の関係に関する問題の平均正答率は、市の平均正答率より上回っている。	表やグラフから比例や反比例の式を導き出せるよう、今後も継続して指導していく必要がある。
図形	平面図形に関する問題の平均正答率は、市の平均正答率より上回っており、よく理解できている。	拡大図については、よく理解している。図形に対する興味関心をさらに持たせるような指導をしていく必要がある。
数量関係	場合の数に関する問題の平均正答率は、市の平均正答率と同じだった。	場合の数では、何通りあるかを求める小学6年生の既習内容だった。導入では、小学校の復習も取り入れながらいねいに指導する必要がある。